



IV

広報・宣伝

The 6th WORLD GAMES 8/16(Thu)~26(Sun)

広 報

1. 宣 伝

(1) PR 宣伝

各種媒体による継続的情報提供と直接対話的広報活動を展開してワールドゲームズの魅力について広く周知を図った。

これにより、県内においては、本大会への期待感の醸成と参加意識の高揚を促すことにより県民一体となった盛り上がりを図り、県外においては、この大会の開催目的のひとつである秋田からの情報発信の実現を目指し、大会ステータスの向上と誘客の促進を図った。

1) 自治体、企業、各種団体所有広報媒体の利用及び月刊タウン誌への定期掲載

協力団体の広報媒体を有効に活用し情報提供を図るとともに、様々な分野の団体の広報媒体を活用することで、幅広い宣伝広報を行った。

[実施件数] ①県内

	自治体	企 業	各種団体	タウン誌
1997年度	—	—	1	5
1998年度	1	—	9	19
1999年度	6	1	21	30
2000年度	4	17	21	17
2001年度	—	6	5	7

[実施件数] ②東北

	自治体	企 業	各種団体
1997年度	—	—	—
1998年度	—	1	—
1999年度	—	1	1
2000年度	1	5	1
2001年度	1	7	1

[実施件数] ③全国

	自治体	企 業	各種団体
1997年度	—	2	—
1998年度	1	3	2
1999年度	2	14	2
2000年度	3	10	12
2001年度	1	18	5

※上記の数字は、AOC広報部として対応した活動のみであり、ニュースとして扱われたもの及び大会期間中に実施した活動は含んでいない。

(以下の実施件数は同様)

2) テレビ・ラジオでのパブリシティ

放送媒体を有効に活用して、効率的な宣伝広報を行った。

実施年度	県内規模実施件数	東北規模実施件数	全国規模実施件数
2000年度	29件	3件	4件
2001年度	33件	5件	5件

3) 新聞広告、テレビスポット、ラジオスポット

ワールドゲームズ開催200日前、100日前などの節目の時期に併せて、有効に活用することにより、効果的な宣伝広報を実施した。

新聞広告 <実施回数>

	県 内	東 北	全 国
2000年度	4	4	8
2001年度	3	4	7

テレビ・ラジオスポット <実施本数>

	県内媒体		東北地区媒体		全国媒体	
	テレビ	ラジオ	テレビ	ラジオ	テレビ	ラジオ
1999年度	120	0	0	0	0	0
2000年度	160	110	0	0	0	0
2001年度	810	310	320	120	0	0

4) 情報誌・パンフレット配布、ポスター掲示

各公共施設、商業施設、学校、企業、行政機関等へ幅広く配布することにより、大会内容の周知と大会機運の醸成を図った。

《情報誌》……全11回発行

VOL.1(1997年10月)～VOL.11(2001年5月)

《パンフレット》

日本語版……全4回発行

(1999年2月、2000年4月・10月、2001年7月)

英語版……全2回発行

(1999年6月、2000年10月)

《ポスター掲示》……全4回発行

(1998年7月、1999年9月、2000年10月、

2001年7月)

5)「お知らせ隊」の活動

県内小・中学校、企業、行政機関、各種団体等から依頼があった場合に、依頼先に組織委員会職員が直接赴いて広報活動を行う「お知らせ隊」を結成。2000年7月から活動を開始した。

[実施件数]

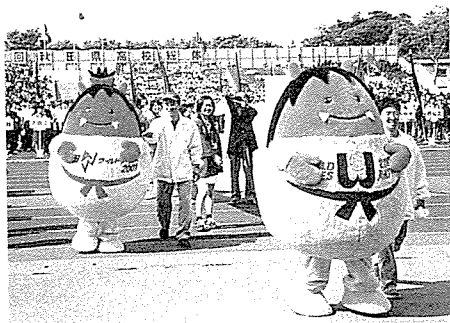
小学校	中学校	高校	大学短大	各種学校	企業	行政機関	各種団体	その他
26件	29件	2件	1件	1件	2件	8件	15件	2件

※上記の数字は、正式な申し込みの手続きがあったもののみである。

また、「お知らせ隊」以外でも、各企業、各種団体に対して啓蒙講演活動を随時実施した。

6) PRイベント、各種催し・競技大会会場等におけるPR活動

AOC主催でPRイベントを実施する他、県内、東北、全国各地で行われる各種の催し・競技大会の会場等においてPR活動を展開することにより、大会内容の周知と大会気運の盛り上げを図った。



[県内各地での実施件数]

2000年4月～2000年6月……………18件
 2000年7月～2000年9月……………21件
 2000年10月～2000年12月……………14件
 2001年1月～2001年3月……………9件
 2001年4月～2001年6月……………14件
 2001年7月～2001年8月……………9件



[東北各地での実施一覧]

2000年9月「東北青年フォーラム2000 in弘前」におけるPR（青森県）。
 PRブースの運営、青森市内での街頭PRの実施等。



2001年2月「生涯スポーツコンベンション2001」におけるPR（青森県）
 PRブースの運営等

2001年5月「東北PRキャラバン」の実施（山形県、宮城県、岩手県）

JR山形駅、仙台駅、盛岡駅でのPR、各県庁での記者会見の実施

2001年 6月 「秋田ワールドゲームズ2001
公開講演会」の実施(宮城
県)

公開講演会の実施

2001年 7月 「青森PRキャラバン」の
実施(青森県)
青森県庁での記者会見の
実施等

2001年 7月 「福島PRキャラバン」の
実施(福島県)
「うつくしま未来博」会場
でのPRブースの運営・ス
テージPRの実施、福島県
庁での記者会見の実施等

[全国各地での実施一覧]

2000年 7月 「ARK Summer & Star
Festival」におけるPR(東京
都)

PRブースの運営、競技デ
モンストレーションの実施等

2000年 7月 「北海道PRキャラバン」
の実施

フェリー内でのPR、札幌
市内およびJR札幌駅・苫
小牧駅でのPRの実施等

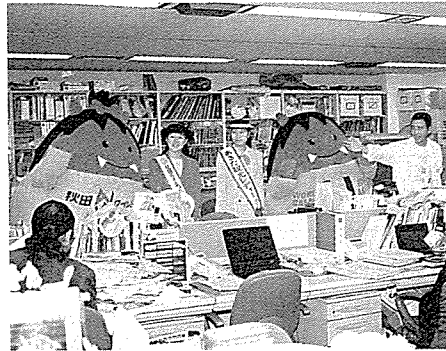
2000年 7月 「21世紀夢の技術展」にお
けるPR(東京都)

PRブースの運営等

2000年 9月 「第13回全国スポーツ・レク
リレーション祭」における
PR(石川県)

PRブースの運営、ステー
ジPRの実施、JR金沢駅
でのPRの実施等

2000年10月 「オリンピックフェスティバル
2000」におけるPR(東京都)
PRブースの運営、JR東京
駅でのPRの実施等



2000年10月 「第54回全国レクリエーシ
ョン大会 INぐんま」にお
けるPR(群馬県)

PRブースの運営等

2000年11月 「秋田観光フェスタin 渋谷」
におけるPR(東京都)

PRブースの運営等



2000年11月 「スポーツ・フォー・オール国
際フェア2000 神宮外苑大会」
でのPR(東京都)

PRブースの運営等

2001年 5月 「100日前カウントダウンイ
ベント」の実施(東京都)

東京パレード・記者会見の
実施等

※上記以外に、パンフレット類・関
連グッズ等の提供、着ぐるみ・横断
幕・競技写真パネル等の貸出などを
多数実施した。

7) 自動車道への横断幕設置

日本道路公団東北支社秋田管理事
務所の協力のもと秋田自動車道へ、
北上管理事務所及び仙台管理事務所
の協力のもと東北自動車道の主要ボ

イントに横断幕を掲出し、ワールドゲームズ開催をアピールした。

[掲出本数]	秋田自動車道	東北自動車道
1999年度	3本	
2000、2001年度	9本	北上市付近2本 仙台市付近2本

8) 県外在住の秋田県出身者による既存組織への協力要請

県外でのワールドゲームズの認知を高めるため、首都圏をはじめ全国各地に結成されている秋田県人会関係組織に対し、各組織会員・家族や市民への大会周知や大会観戦等の協力を依頼した。

その結果、東京地区では県人会連合会が主体となり「秋田ワールドゲームズ2001首都圏支援実行委員会」が結成され、独自の広報宣伝や募金活動が行われたほか、観戦ツアーを実施するなどの支援活動が展開された。

また、その他の県人会組織においても広報誌での紹介や年次総会等におけるPRなど、県外でのワールドゲームズへの関心を高める一役を担った。

《秋田ワールドゲームズ2001首都圏支援実行委員会》

結成 / 2001年1月

会員 / 約120人

(会長 渡部建藏 (東京地区秋田県人会連合会長))

主な活動・協賛活動 (募金、新聞広告)

宣伝活動 (各種行事における宣伝、東京パレードの実施)

大会観戦ツアー (8月)

《各地の県人会組織における協力》

総会等での宣伝・募金活動の機会提供
実施箇所

札幌、青森、盛岡、仙台、酒田、新潟、東京、名古屋、大阪

機関誌への掲載、地域情報紙への掲載
会員へのパンフレット、PRハガキ等の郵送

9) その他

JWGAが主体となり、スポーツ振

興基金の助成事業として、1999年6月から2000年3月まで7回にわたり、「Sports Graphic Number」に、有力選手と秋田大会の紹介記事広告を掲載した。

※「Sports Graphic Number」

…1980年4月創刊スポーツグラフィック誌

10) 世界

① インターネットホームページ英語版
特に宣伝活動に経費を要する海外に対しては、英語版のホームページを1998年4月に開設してワールドゲームズおよび秋田に関する多様な情報を発信した。このホームページは2001年6月にリニューアルした。

また、ホームページに設置した「ご意見フォーム」を通じて、ワールドゲームズや秋田に関心を持った人の様々な意見・質問に敏速に対応した。

② IWGA情報誌への情報掲載

IWGAが年3～4回発行する情報誌「World Games News」に、秋田大会の開催決定以降、全18回、秋田大会の準備状況を掲載した。この内容は、IWGA加盟の各IFを通じて全世界に発信された。

③ GAISFでのプレゼンテーション

年1回開かれるGAISFの総会において、1997年10月以降2001年10月まで全5回プレゼンテーションを実施し、GAISF加盟各IFに対して秋田大会の開催についてのPRを行った。

(2) インターネット

インターネットを活用したグローバルな広報活動の展開と、様々な人達とのコミュニケーションやボランティア募集、情報提供、各種問い合わせへの対応、リンクによる公式旅行代理店の紹介の対応等を行った。

1) インターネットによる広報

出場選手情報、競技スケジュール、文化・交流プログラムに関する情報の提供 (情報誌とリンク) と、問い合わせへの対応、情報交換などを行った。

98年4月ホームページ設置後一年

間のヒット数は約6,000であった。大会開幕前日のヒット数は195,189まで増えており、期間中だけで68,333のヒット数があった。

大会終了2週間後の時点で278,000を超えるカウントを記録した(グラフ参照)。

なお、これは日本語版・英語版トップページより前の第6回ワールドゲームズ・ホームページ・トップページに設置したカウンターにより記録した数値であり、このページを経由しなかったビジターは含まない数値である。

①出場選手情報の提供

ア) 実施計画では、2000年夏以降有望選手を中心に日本語、英語併記で掲載を予定していた。

イ) 各競技団体より出場選手決定の通知が予定されていた8週間前になっても揃わず、また、変更が相次いだ為、大会直前まで掲載を延期した。

ウ) 出場選手リストを掲載している国際競技団体のホームページに関しては、AOCホームページよりリンクした。

エ) 最終的には、競技開始前に各競技種目毎に国・選手のスターティングリストを掲載し、スターティングリストの選手名から個人情報も提供した。

②文化・交流プログラム

2001年春以降、ワールドゲームズプラザでの文化プログラムや開閉会式、協賛イベント、開催市町村・競技関連イベント等の情報を掲載した。

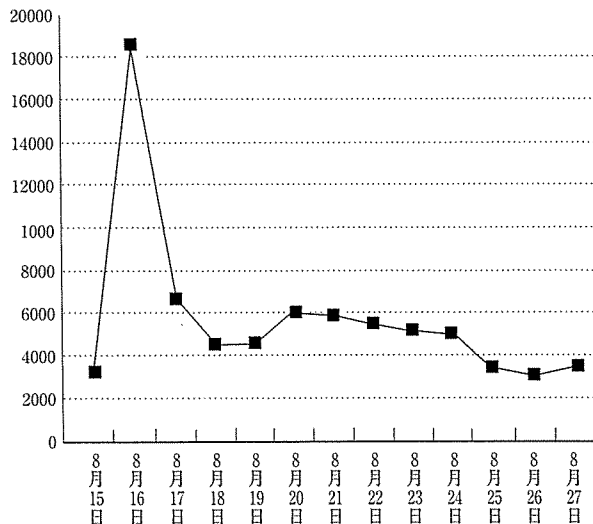
③問い合わせへの対応等

ア) Eメール、掲示板による問い合わせ日本語、英語による問い合わせへの対応を行った。

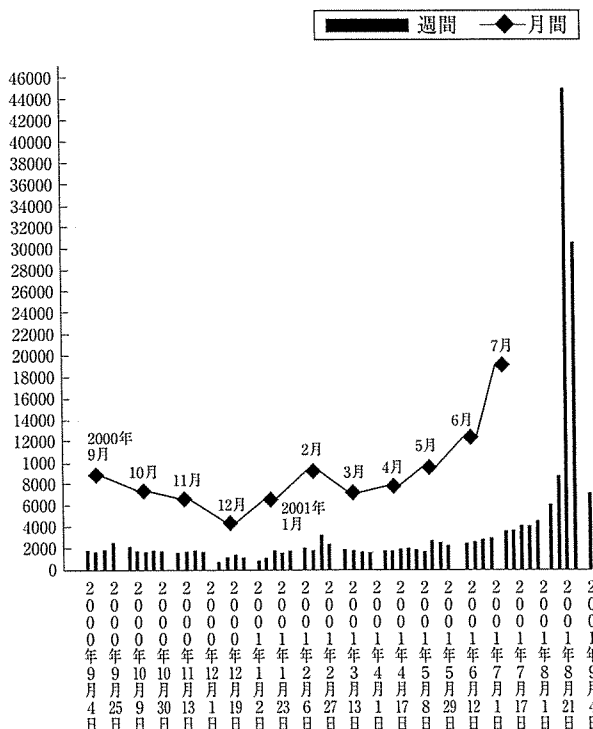
イ) チャットの設置

実施計画では、2001年4月以降コミュニケーションの場としてチャットルームの開設を予定していたが、管理面から不可能であったため中止した。しかし、ボランティアグループによる掲示板では、様々なトピック

期間中ドメインページヒット数



2000年9月より1年間の週間・月間ヒット数



広報・宣伝(宣伝)

The 6th WORLD GAMES 8/16(Thu)~26(Sun)

で交流の場が提供された。

④インターネットニュース

実施計画では、希望者にEメールでワールドゲームズニュースの配信を予定していたが、希望者が集まらなかったため中止した。

⑤その他

ア) トピックスについては、「秋田から(へ)のメッセージ」や「競技体験談」等を連載した。

イ) 300日前には「プレゼント付きアンケート」を行い、ホームページ利用者の統計値や大会の認知度等についての情報を得た。

ウ) 50日前からは、バーチャルトーチリレーをスタートさせ、大会が近づく雰囲気を盛り上げるとともに、秋田及びワールドゲームズの情報を毎週掲載した。

2) ボランティア募集

①ボランティア募集

インターネットを使用したボランティアの募集、問い合わせへの対応を行った。英語の申請書も準備し、海外からのボランティア応募にも対応した。

②ボランティアへの情報提供インターネットにアクセスできるボランティアに対し、ボランティアページを設置し事前・大会ボランティアの活動概要等を掲載した。

「事務連絡用」、「おしゃべり」、「事務局への提言」の3種類の掲示板を設置することにより、事務局とボランティア間及びボランティア間のコミュニケーションを促進した。

また、ボランティアページ内には、第6回ワールドゲームズをきっかけに結成されたボランティアグループ「ティー・カップス」のサイトにも連結。このページには、県外からのボランティアに便利な情報やボランティア間の交流を深める様々な情報交換の場が提供された。

3) チケット販売告知・宿泊対応

ホームページでチケット販売のPRを行った。

①チケット販売告知

実施計画では、2000年8月からチケット販売の告知を目標としていた。

しかし、競技チケット発売を2月15日(半年前)に延期したため、チケット販売の告知も延期することにした。

その他、各競技種目の開催日時・場所や、チケットの種類・値段、各会場までの交通案内・シャトルバススケジュール、各会場での撮影制限や臨時駐車場の案内図を掲載し、チケット購入の為に必要なあらゆる情報を提供した。

また、競技及び文化交流イベントのスケジュール変更等もホームページを通じて素早く告知した。

海外からの方には、出発前にチケットを購入できるようにチケットぴあのページと連結してインターネット上での予約購入を可能にした。

②宿泊予約対応

実施計画では、2000年8月から公式旅行代理店の紹介を行い、宿泊予約の対応を目標としていた。しかし、パスポート内外の参加選手及び役員の宿泊予約については、各競技団体を通して斡旋したため、宿泊予約のシステムを設置する必要がなくなった。

個人で宿泊を依頼してきた一部の方には、公式旅行代理店を紹介した。

③公式記念品・特産品販売

実施計画では、2000年4月から、グッズ販売・秋田県特産品販売ページへのリンク、出店(展)予定者のホームページへのリンクを目標としていた。

しかし、出店予定者のリスト及びホームページが揃わなかった為、またインターネット上での取引がセキュリティ面からも困難であった為中止し、秋田県物産振興会及び各種スポ

ンサーのホームページのみへリンクした。

(3) 全国規模のお祭り・開催市町村でのPR活動

主催者側の協力のもと、全国的なお祭りの場においてPRを実施したり、また、ワールドゲームズ開催市町村との連携により様々なPRを実施することで、県内外の人々に対し、効果的に宣伝広報を行った。

1) 全国規模のお祭りにおけるPR活動

期間中約120万人の観客が訪れる秋田市の伝統行事「竿燈まつり」と、1日で60万人以上の観客が集まる大曲市の「全国花火競技大会（大曲の花火）」においてPRを実施。全国に向けてワールドゲームズ開催をアピールした。

① 「竿燈まつり」でのPR

2000、2001年度に協賛し、竿燈まつりパンフレットへのワールドゲームズの大会情報の掲載、着ぐるみによるパフォーマンス、大型画面によるPRビデオの放映等を行った。

また、NHK秋田放送局前で行われる「あきたふるさと広場」にも参加。PRブースの運営、ステージでのPRを行った。

② 「全国花火大会（大曲の花火）」でのPR

1999、2000年度に協賛し、全国花火大会のパンフレットへのワールドゲームズの大会情報の掲載、仕掛け花火の提供を行った。

この模様は、NHKの衛星放送（BS）を通して全国へ紹介された。

2) 開催市町村でのPR活動

開催市町村と連携し、開催市町村で行われるお祭りや各種催しなどに併せてPRを実施した。PRビデオの放映・パンフレット等の配布・オフィシャルグッズの展示販売などを行うPRブースの運営と併せ、競技体験コーナー、ワールドゲームズと関連させ関連させた各種ゲーム、大会マスコットキャラクター「ナミー・ハギー」の着ぐるみによるパフォーマンスなど様々な内容でワールドゲームズ開催をアピールし、大会気運の盛り上げを図った。

るみによるパフォーマンスなど様々な内容でワールドゲームズ開催をアピールし、大会気運の盛り上げを図った。

実施一覧

2000年5月

「菜の花まつり」におけるPR(大潟村)

2000年6月、7月

「第3弾ポスターデザイン募集キャンペーン」の実施

(秋田市、雄和町、六郷町)

2000年7月

「第5回子吉川フェア」におけるPR(本荘市)

2000年8月

「天王グリーンランドまつり2000」におけるPR(天王町)

2000年10月

「第21回健康の集い」におけるPR(秋田市)

2000年10月

「第32回よこて菊まつり」におけるPR



(横手市)

2000年11月

「第123回種苗交換会」におけるPR(秋田市)

2001年2月

「第26回童っ子の雪まつり」におけるPR(秋田市)

2001年6月

「第17回日本海洋上花火大会」への協賛(岩城町)

※上記は、AOC広報部として実施したものの一部である。



(4) まとめ

ワールドゲームズをPRするにあたって、最大の問題は、大会自体の知名度が低いことであった。

経費を極力抑え込む、という基本スタンスのもとで、限られた人員の中でいかに効率的にPRするか、ということが常に広報部の課題であった。実際の競技・演技を直接見てもらえれば何よりもこの大会の魅力が伝わることはわかってはいるものの、それは予算上非常に困難であった。結果としては、あちこちに顔を出して、口頭で説明したり資料を配付したりしながら、できる限り競技のデモンストラーションや模擬的な競技の体験コーナーを組み合わせるPRしていくという内容の活動がほとんどであった。

このような活動を重ねていったが、しばらくの間はほとんど効果が見えてこない状況であった。

県内においては、ようやく、開催200日前にあたる2001年2月ぐらいから徐々に大会名が知られるようになり、100日前にあたる2001年5月ぐらいには大会自体については周知が図られていると実感できるようになってきた。

PR活動と絡め、新聞広告、テレビ・ラジオスポット、その他各種の媒体を連動させて宣伝広報したことは非常に効果的であったと思われる。一方、県外においては、東京でのパレード、東北各県へのPRキャラバンなどPR活動を実施したものの、県外への周知・普及を図るためには活動量が少なすぎた。県外におけるPR活動に関してはやはり、PR宣伝

経費を十分確保した上でのPRが必要不可欠であろう。

派手な演出も華やかな装飾も無く、着ぐるみに入ることも含めて、企画・運営はほとんどが自前という地道なPR活動において、大会マスコットキャラクター「ナミー・ハギー」のキャラクターとその着ぐるみ人気に支えられた部分が非常に大きかった。

イベント

1. プレイイベント

(1) 競技イベント

秋田大会で実施する競技の魅力や、トップレベルの演技会や選手権大会の開催をとおして、広く紹介した。特に2000年度に開催した選手権大会では、ボランティアが運営に参加し、本大会に向けた実地研修を行った。

イベント名	会場名
1997年11月18日(火) スポーツアクト秋田県演技会	秋田県立体育館 (秋田市)
1998年 5月23日(土) ～24日(日) 全日本ローラースケートスピード選手権大会	秋田県立スケート場 (秋田市)
1998年 6月26日(金) ～28日(日) 全日本パワーリフティング選手権大会	大潟村村民体育館 (大潟村)
1998年 7月19日(日) ～20日(月) スポーツブール日本選手権大会	スカイドーム (雄和町)
1998年 7月25日(土) ～26日(日) コーフボール日本選手権大会	アスパル (六郷町)
1999年 7月25日(日) 日本クラス別ボディビル選手権大会	秋田市文化会館 (秋田市)
1999年 7月29日(木) ～8月1日(日) 全日本ローラーホッケー選手権大会	秋田県立スケート場 (秋田市)
1999年 8月20日(金) ワールドゲームズウインターキャストイングトーナメント	秋田県立中央公園 (雄和町)
1999年 8月22日(日) 全日本10ダンス、シニアジュニア選手権大会	秋田市立体育館 (秋田市)
1999年 8月26日(木) ～29日(日) ジャパンオープンウインタースキーナメント	大潟村水上スキー場 (大潟村)
2000年 7月7日(金) ～9日(日) ジャパンオープンウインタースキーナメント	大潟村水上スキー場 (大潟村)
2000年 7月22日(土) ～23日(日) 全日本ローラーフィギュア選手権大会	秋田県立スケート場 (秋田市)
2000年 7月22日(土) ～23日(日) 全日本ディスクゴルフ選手権大会	秋田県立中央公園 (雄和町)
2000年11月14日(火) ～19日(日) 世界男子パワーリフティング選手権大会	秋田市文化会館 (秋田市)

(2) 市民参加型イベント

秋田大会で実施する競技を実際に体験できるイベントを開催し、その魅力を広く紹介すると共に、大会気運の盛り上げを図った。



1) ワールドゲームズフェア

ワールドゲームズフェア実行委員会、SSF 笹川スポーツ財団等の共催で、1997年度から2001年度まで5回にわたり、ワールドゲームズ競技の世界チャンピオン等トップ選手を招聘し、デモンストレーションと競技体験のイベント「ワールドゲームズフェア」を開催した。

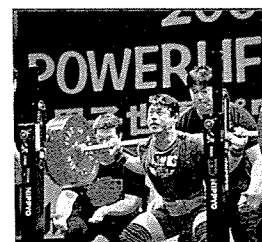


ワールドゲームズフェア実施一覧

WGフェア'97	
開催時期	1997年10月4日～5日
場 所	県立中央公園
種 目 数	25種目
入場者数	2,000人
チャレンジラリー達成者	219人
招 聘 者	6 競技 空手(若井敦子、阿部良樹)、キャストイング、スポーツブール、ネットボール、ベタック、ボディビル(水間詩子)
備考	5日は雨天中止

WGフェア'98	
開催時期	1998年10月3日～4日
場 所	八橋運動公園
種 目 数	31種目
入場者数	15,000人
チャレンジラリー達成者	1,141人
招 聘 者	4 競技 キャストイング、スポーツブール、パワーリフティング、ダンススポーツ
備考	

WGフェア'99・WGウィーク'99	
開催時期	1999年8月21日～22日
場 所	八橋運動公園
種 目 数	32種目
入場者数	9,500人
チャレンジラリー達成者	857人
招 聘 者	3 競技 スポーツアクト体操ピリヤード、フィンスイミング
備考	悪天候の為、一時中断



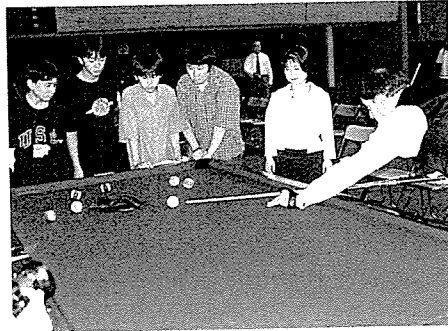
広報・宣伝【イベント】

The 6th WORLD GAMES 8/16(Thu)～26(Sun)

WGフェア'2000・全国アウトドアスポーツ	
開催時期	2000年7月22日～23日
場 所	県立中央公園
種 目 数	31種目 アウトドア(8種目)
入場者数	12,000人
チャレンジラリー達成者	1,217人
招 聘 者	4競技 スポーツアクロ体操 スポーツボール、パワーリフティング、ライフセービング(遊佐雅美)
備考	

WGフェア'2001	
開催時期	2001年8月25日～26日
場 所	ワールドゲームズプラザ
種 目 数	6種目
入場者数	2,500人
チャレンジラリー達成者	824人
招 聘 者	無し
備考	第6回ワールドゲームズ大会期間中

※総合入場者数：41,000人
※チャレンジラリー達成者数：4,258人



2) 第5回全国アウトドアスポーツフェア
全国アウトドアスポーツフェア秋田県実行委員会の主催で、2000年5月から2001年3月まで、ワールドゲームズ開催市町村を中心に「第5回全国アウトドアスポーツフェア」を開催した。

(2) カウントダウンイベント

開催200日前と大会直前にカウントダウンイベントを開催し、マスコミを通じたPRと誘客促進を狙った。

効率的な予算活用を目指して、以下の方針に従ってカウントダウンイベントを検討した。

時 期	半年前まで
目 的	一般県民のワールドゲームズに対する認知を図る
対 象	県内
時 期	半年前～100日前まで
目 的	メディアのワールドゲームズに対する認知を図る
対 象	東北及び首都圏へ拡大する
時 期	100日前～50日前まで
目 的	スポーツ大会としてのワールドゲームズに対する認識を高める
対 象	首都圏
時 期	50日前～大会直前まで
目 的	開催直前のワールドゲームズへの期待感を醸成する
対 象	県内

1) 開催999日前イベント

開催日/1998年11月21日

第1部/カウントダウンLIVE





会場／JR秋田駅東西連絡自由通路
内容／

- ・カントリーバンド
ミネソタ州立大学機構
秋田校 学生5人
- ・バトントワリング
秋田市スポーツ少年団
保戸野バトン
- ・合唱
秋田市立明德小学校
- ・アコースティックバンド
マトリックス
- ・カウントダウンモニュメント除幕式
- ・その他 東西連絡自由通路にポスターペインティングの展示。

第2部 記念シンポジウム

会場／秋田ビューホテル(光琳の間)
内容／

- ・弦楽演奏 アトリオン室内オーケストラメンバーによるモーツァルトの夕べ

シンポジウム

テーマ／「ワールドゲームズ」と「オリンピックゲームズ」

パネリスト／長崎宏子

Lina Kachiushite

(リナ・カチュシテ)

宮原 章

師岡文男

コーディネーター／西木正明

参加者 約300人

*組織委員会にとって、初めてのカウントダウンイベントであり、県民がワールドゲームズを実際に見ることのできるようにモニターを埋め込んだモニュメントが設置され、開催までの時を刻んでゆくこととなった。

2) 開催90日前イベント

開催日／1999年2月28日

会場／秋田空港2階出発ロビー

内容／

- ・太鼓演奏 雄和太鼓保存会
- ・カウントダウンモニュメント除幕式
- その他／雄和町川添小学校、種平小学

校、戸米川小学校、大正寺小学校生徒が公式ポスターに色をぬって、会場を装飾

3) 開催半年前イベント

2月15日の競技チケット販売開始時期の前後に、以下のイベントを有機的に連携させて実施することにより相乗的効果を狙った。

また、2月16日には報道各社によるメディアミーティングも併せて開催し、メディアへの露出とワールドゲームズに対する認知度の高まりを目指した。

[200日前イベント]

開催日／2001年1月28日

会場／田沢湖スキー場

内容／

- ・ナミーハギーによるスキーデモンストレーション
- ・ワールドゲームズ〇×クイズ
- ・ナミーハギー杯争奪そり競争
- ・雪上ビーチフラッグス
- ・その他 ABS秋田放送ラジオが田沢湖スキー場から実況放送を実施した。

*当事業は秋田県事業として実施した。



[6 Month Countdown Event]

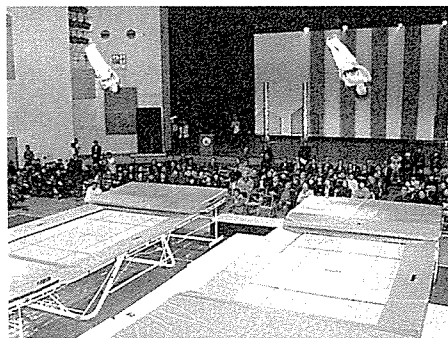
開催日／2001年2月16日

会場／秋田ふるさと村

内容／

- ・挨拶 ロン・フローリック会長
- 第I部 競技デモンストレーション
日本を代表するトップアスリートによるデモンストレーション
- ・エアロビックミックスペア
佐藤寿樹、佐藤るみペア
(スズキジャパンカップ98,99ペア
部門優勝)

- ・ダンススポーツ
ラテン
菅野幸則、常盤直子組
スタンダード
渡辺和昭、渡辺裕美組
(ラテン種目全日本1位、スタンダード種目全日本1位)
- ・トランポリン
男子
人見雅樹、上山容弘
トランポリン
女子
油木 恵、半本ひろみ
(男女ともシンクロナイズド第37回全日本選手権優勝)



- ・ボディビルディング
谷野義弘
(2000年ミスター日本選手権1位)
山岸秀匡
(2000年ミスター日本選手権3位)
- 第Ⅱ部 公式テーマソング発表
& ミニコンサート



出演／森川美穂、加曾利康之

その他／会場内でのワールドゲームズ競技写真パネル展示

* AOCとしての2001年初めての主催イベント。事前にテレビコマーシャル、新聞広告、チラシ等により宣伝し、観客600人を集めて実施した。

* 競技デモンストレーションに関しては秋田県事業として実施した。

[ウィンターイベント]

開催日／2001年2月17日

会場／秋田ビューホテル

内容／

ダンススポーツ&ミュージック

- ・ダンススポーツ ラテン
菅野幸則、常盤直子組
- ・スタンダード
渡辺和昭、渡辺裕美組
(ラテン種目全日本1位、スタンダード種目全日本1位)

・加曾利康之ミニコンサート

・Jrダンスパッケージショー
スタジオS

・コーディネーター&トーク
大間ジロー、大島貴志子

* 葉書による事前予約制とし、予約開始後1週間で満員となった。ダンススポーツに対する根強い人気とファン層の底辺の広さを感じた。

* なお、この事業は秋田県職員互助会の協力を得て実施した。

4) 開催100日前カウントダウンイベント



5月8日の開催100日前に時期を併せて東京、東北及び秋田県内で一連のカウントダウンイベントを実施することにより、ワールドゲームズに対する県外での認知度の向上と県内での期待感の醸成を狙った。

[出発式]

日時/2001年5月7日
正午～午後0時15分
会場/秋田県庁正面玄関
内容/100日前カウントダウンイベント
宣伝隊のバス出発式



[東京パレード]

日時/2001年5月8日
午後2時～3時30分
コース/東京日本橋・常盤橋公園→
(有楽町→銀座)→日比谷公園
外堀通りを約3km
規模/参加者200名
内容/大型映像車によるワールドゲームズPRビデオの放映を先頭に、小町娘、秋田花まるっキャンペーンレディとともに、なまはげ太鼓、ドンパン踊り、

花まるっ音頭などがパレードし、秋田で開催される総合国際スポーツ大会「第6回ワールドゲームズ」をPRした。

パレードの主体は秋田ワールドゲームズ2001首都圏支援実行委員会の呼びかけで集まった秋田県出身者が中心であった。

管轄となる丸ノ内警察署では、このコースのパレード利用は初めての事例であり、当初はかなりの難色を示された。首都圏支援実行委員会とともに交渉することにより、主旨を理解してもらい、許可を得ることができ、当日も交通整理等で協力してもらった。

スポーツ大会PRとふるさと宣伝をミックスした都内でのパレードは珍しく、多くの報道機関に社会ニュースとして取り上げられた。



[出場予定選手及び開会式概要等に関する記者会見]

日時/2001年5月8日
午後4時～4時50分
会場/日本プレスセンタービル10階ホール
内容/司会 山王丸和恵
(日本テレビアナウンサー)
第6回ワールドゲームズ出場
予定選手による記者会見
出席者/エアロビック 伊藤由里子
フィンスイミング 尾形 蘭
新体操 松永里絵子
ボデビルディング 谷野 義弘

ライフセービング 遊佐 雅美

トランポリン 齋藤 幸恵

・開会式概要に関する記者会見

開会式総合プロデューサー今野勉氏及び式典音楽作曲家石井眞木さんによる開会式概要の発表

*応援団として西木正明さん(直木賞作家)が同席

・清酒高清水酒造元による「ワールドゲームズ記念酒」発表会

*会場には北海道新聞社から琉球新報社まで57社60人以上の報道機関が集まった。

[都内大型映像画面でのPR]

期 間/2001年5月8日から5月28日

場 所/渋谷駅前、新橋駅前、原宿竹下口、新宿東口、銀座4丁目

内 容/都内5ヵ所の大型映像8画面を利用して「第6回ワールドゲームズ」のPR映像を毎時2回、1回当たり1分、毎日約30回放映した。

なお、渋谷駅前では、業界初の試みとして3画面同時放映を実施した。

[東北キャラバン]

日時及び場所

2001年5月9日 山形県

10日 宮城県

11日 岩手県

内 容/

表 敬 山形県庁(副知事)

宮城県庁(出納長)

岩手県庁(副知事)

各県庁記者クラブでの記者会見

・NHK山形、NHK仙台、

NHK盛岡各放送局表敬

・山形新聞社、河北新報社、

岩手日報社表敬

・JR山形駅、仙台駅、盛岡駅でのPR

[県民パレード]

日 時/2001年5月13日

午後12時30分～午後1時

コース/アゴラ広場→駅前→広小路→キャッスルホテル

規 模/参加約200人

内 容/アゴラ広場で出発式を行った後、県警音楽隊を先頭に、小町娘、秋田花まるっキャンペーンレディ及びボランティアの方々や大会を支える方が一団となって、横断幕や旗を手には秋田駅前をパレードした。

[ワールドゲームズを支える県民の集い]

日 時/2001年5月13日

午後1時30分～午後3時30分

会 場/秋田キャッスルホテル 放光の間

規 模/参加約1,000人

内 容/大会ボランティア、式典出演者及び各種サービス業従事者など、大会を支える方々が一堂に集まり、大会の成功を誓うとともに、大会への期待感を醸成した。

・寺田典城知事挨拶

林 善次郎AOC会長挨拶

・各団体出席者代表の抱負、誓いの言葉

・ビデオメッセージ(IWGA
ロン・フローリック会長、
秋田出身著名人および
参加予定日本人競技者)

今野勉さん 講演会

森川美穂ミニコンサート

*この事業は秋田県事業として実施した。

5)開催50日前カウントダウンイベント

今大会参加国(6月27日現在)国旗77本とAOC旗及びIWGA旗、合計79本を秋田県庁及び秋田市役所前に設置する参加国旗掲揚セレモニーを実施し、国際大会であるワールドゲームズへの期待感を醸成し、大会歓迎ムーブメントを盛り上げる契機とした。

日 時/2001年6月27日(水)

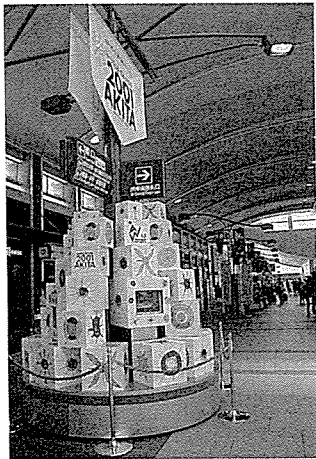
12時10分～12時30分

会 場/秋田県庁正面玄関

内 容/県警音楽隊 演奏2曲

・蒔苗昭三郎AOC副会長挨拶

- ・寺田典城知事挨拶
 - ・子供達によるナミーハギーダンス
 - ・掲揚セレモニー
- AOC旗 蒔苗副会長、
IWGA旗 寺田知事
参加国旗77本 旭北小学校生徒



広報・宣伝【イベント】

The 6th WORLD GAMES 8/16(Thu)~26(Sun)

制作物

(1) 記録制作

1) 計画

第6回ワールドゲームズについて記録した公式報告書及び公式記録VTRを以下のとおり終了後作成することとした。

公式報告書（日本語版）

大会全般の記録と開催までの歩みをまとめ、大会開催の成果を後世に伝える内容とする。

2,000部作成し、AOC関係者、学校関係、図書館、寄付・協賛企業等に配布する。

公式報告書（英語版）

IWGA総会に提出するために大会全般の記録をコンパクトにまとめ、英訳する。

300部作成し、IWGA関係者、IFに配布する。

公式記録VTR

音楽入りで20分とし、PAL、NTSC両方の方式で作成する。

200本作成し、IWGA関係者、IF、AOC関係者に配布する。

2) 実施状況と結果

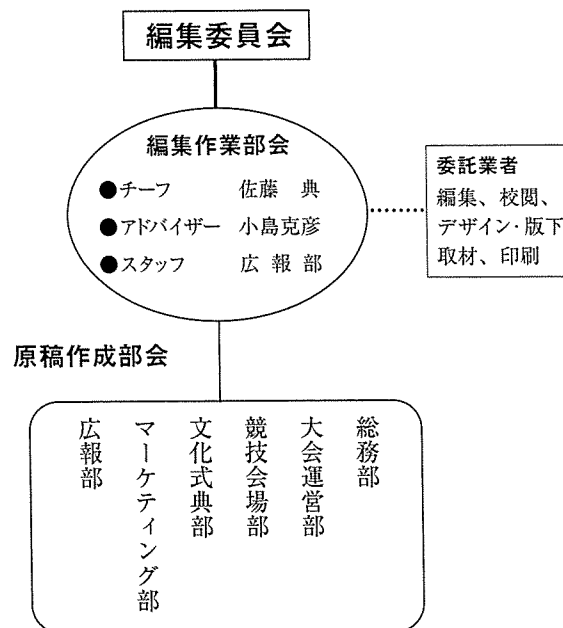
公式報告書（日本語版）

AOC内に各部長を構成メンバーとする編集委員会を組織した。編集方針については、編集委員会で検討の上決定することとし、原稿作成は各部署で分担し、編集作業部会で全体の整合性を調整することとした。編集委員会にて、編集項目及び主な仕様について決定した上で、2001年8月3日に公式報告書製作委託に関する入札を実施して、委託業者を決定した。

作成部数 2,000部

A4版 396ページ

公式報告編集体制



掲載される写真については、大会開催前に委託業者に対して写真取材が必要な事項について指示し、大会終了後に掲載する写真を選別した。同時に、競技写真については、紙面に未掲載の写真も含めて、大会終了後、秋田魁新報社から提供を受けた。

原稿については、大会終了後各部署担当者が作成し、編集作業部会が中心になってまとめた。

また、秋田ワールドゲームズ振興会より、寄付拠出者（社）に対して公式報告書を配布したい希望があり、振興会の負担で700部増刷した。

2001年8月31日付けで約1/3のスタッフが、9月30日付けで更に半分のスタッフが組織委員会から離れ元の職場に復帰してしまったため、実際に業務を担当した者が不在となり、事実確認等に関して困難な場合が多々あったが、当初予定どおり11月末に納品となった。

公式報告書（英語版）

英語版の公式報告書についても、日本語版と同様に編集委員会で編集方針を決定した上で、各部で原稿を作成した。第5回ワールドゲームズのラハティレポートを参照として以下の仕様で作成した。

主な仕様 A4版 表紙カラー
本文モノクロ 写真無し、
200部
記事30ページ、資料18ページ、合計48ページ

当報告書は10月中旬まで完成し、2001年10月25日にシンガポールで開催されたIWGA年次総会での報告資料として利用した。

編集については大会の状況を理解してもらうために図表を多用した。

公式記録VTR

大会中配信される国際映像を素材にして約20分のサマリーを制作することについて、国際映像を制作した株式会社NHK情報ネットワーク（JN）と事前に合意した。

各競技のVTRを約30秒平均でまとめ、開会式や閉会式、秋田県内の風景等を挿入して約22分のサマリーを制作した。

マスターテープの他に、PALを50本、NTSCを10本コピーし、シンガポールで開催されたIWGA年次総会にてIWGA及びIF関係者に配布した。

なお、約4分の紹介サマリーも作成し、GAISF年次総会で第6回ワールドゲームズを報告する際の映像資料として活用した。

(2) 情報誌、ガイドブック、大会プログラム

大会準備期間中の情報提供手段として情報誌を、31の実施競技の内容や見どころを周知する手段として大会ガイドブックを、大会期間中の競技・文化プログラムや総合情報の提供手段として大会公式プログラムを制作した。

1) 情報誌

IWGA及びAOCの決定事項の発表やイベント等の告知、ワールドゲームズの歴史等を広く提供するため、情報誌を11回発行した。

① 内容及び発行部数

	発行時期	発行部数	特 集
vol. 1	1997年10月	3,000	WG 概要紹介、第5回ラハティ大会視察報告
vol. 2	1998年 3月	3,000	大会基本コンセプト、長野五輪視察報告
vol. 3	1998年12月	11,000	秋田大会開催競技・会場決定、開催999日前記念イベント
vol. 4	1999年 3月	14,000	大会テーマ、開催900日前記念イベント、WGのあゆみ①
vol. 5	1999年 6月	15,000	公開競技、文部省スポーツ指導専門官講演、WGのあゆみ②
vol. 6	1999年 9月	16,000	大会イメージソング発表、ボランティア募集、WGのあゆみ③
vol. 7	1999年12月	17,500	IF代表者競技会場視察、大会マスコットキャラクター発表、WGのあゆみ④
vol. 8	2000年 3月	17,500	大会マスコットキャラクター愛称発表、イベント紹介、WGのあゆみ⑤
vol. 9	2000年10月	23,000	開会式チケット発売、ボランティア活動、オフィシャルショップオープン
vol. 10	2001年 1月	23,000	競技チケット発売、大会テーマソング発表、メダルデザイン決定、大会スポンサー発表
vol. 11	2001年 5月	23,000	開閉会式情報、WGプラザ紹介、市町村開催準備活動、スポンサー企業紹介

②配布範囲

JWGA、企業、県内市町村、学校、競技団体、駅、空港、県人会、スポンサー、ボランティア、AOC関係者など。

2)大会ガイドブック

実施競技の解説や見どころのほか、本大会に関する様々な情報を提供するため、大会ガイドブック(日本語版・英語版)を作成した。

①内容

各競技の歴史・ルール・見どころ
・大会スケジュール・会場案内・
交通アクセスなどを掲載した。

②配布範囲

JWGA、企業、イベント、キャラバン、祭り、県内市町村、学校、競技団体、東北各県庁、文部科学省、空港、ショッピングセンター、県人会、ボランティア、関係職員など。(日本語版)

IWGA、IF、スポンサー、海外メディア、韓国、イベント、キャラバン、通訳など。

(英語版)

③配布時期・配布部数

2000年10月から配布開始

35,000部(日本語版)

2001年3月から配布開始

4,000部(英語版)

3)公式プログラム

本大会時に公式プログラムを作成した。(日本語・英語併記)

①内容

あいさつ、競技紹介、日程、会場案内、アクセス情報、開・閉会式情報、イベント情報、シャトルバス案内、チケット案内などを掲載した。

②配布範囲

観客・報道・放送関係、インフォメーションブース、ワールドゲームズプラザ、選手・役員、開会式、各競技会場、宿泊ホテル、会場最寄り駅、スポンサーなど。

③配布時期・配布部数

2001年8月6日から配布開始

100,000部

*大会ガイドブック(日本語版)および第3弾公式ポスター(2000年度制作)公式プログラムおよび大会パンフレット(改訂版)(2001年度制作)については、JWGAが主体となり、スポーツ振興基金の助成事業として制作した。

(3) その他の制作物

ワールドゲームズの広報宣伝ツールとして、下記のものを制作した。

制作物	制作時期	制作数	主な配布先
プロモーションビデオ (20分) (NTSC、PAL)	1998. 1	100本	GAISF・イベント 各種WG説明会・講演会貸出用
太陽マーク缶バッジ (4種)	1998. 8	40,000個	イベント・キャラバン・祭り・ GAISF・県外事務所・大会本番等
Tシャツ	1998. 8	530枚	イベント・各種プレゼント
プロモーションビデオ (5分) (NTSC、PAL)	1998. 9	10本	GAISF・イベント 各種WG説明会・講演会 貸出用
カウントダウンポスター	1998.11	2,000枚	学校・幼稚園・駅・空港・ホテル 商店等
丸形シール	1998.11	40,000枚	イベント・競技大会・祭り・県外 事務所等
日本語パンフレット	1999. 2	40,000部	学校・駅・空港・ホテル イベント・PRブース等
英語パンフレット	1999. 6	20,000部	GAISF・イベント
AWマーク マグネットシール	1999. 8	100枚	自治体・企業
イメージソング音源	1999. 8	—	イベント・貸出用
車用成功支援シール	1999. 8	6,000枚	企業・自衛隊等 自治体・タクシー
プロモーションビデオ (5分) (NTSC、PAL)	1999. 9	50本	GAISF・イベント 各種WG説明会・講演会 貸出用
シンボルマーク マスコットピンバッジ	2000. 2	1,000組	イベント・プレゼント等
マスコット バラエティシール	2000. 2	10,000枚	イベント・キャラバン等

制作物	制作時期	制作数	主な配布先
なまはげ マグネットシール 〈推進室〉	2000. 3	60枚	庁内各課
競技ガイドブック	2000. 3	7,500部	企業・報道関係・NF・省庁・学校 県内市町村・スポーツ団体等
マスコット5連シール 〈推進室〉	2000. 3	20,000枚	イベント・キャラバン・学校・祭り 研修会・県外事務所等
名刺台紙 〈推進室〉	2000. 3	500,000枚	庁内各課・企業等
ビニール手提げ袋 〈推進室〉 〈AOC〉	2000. 3 2000. 4	20,000枚 40,000枚	イベント・キャラバン・庁内各課 各県人会・各企業・大会本番等
チラシ 〈マーケ〉	2000. 4	60,000枚	企業・学校・イベント 祭り・庁内各課等
日本語パンフレット	2000. 4	20,000部	企業・AF・学校・庁内各課・ス ポーツ団体・イベント等
プロモーションビデオ (5分) (NTSC、PAL)	2000. 9	50本	GAISF・イベント 各種WG説明会・講演会 貸出用
プロモーションビデオ (10分)	2000. 9	1,040本	報道・放送関係・県内市町村・学 校・企業・イベント キャラバン・各県人会等
日本語パンフレット	2000.10	99,000部	企業・東北各県庁・SSF イベント・競技団体・省庁 キャラバン・県内市町村 報道・放送関係・駅・空港 各種団体・県外事務所等
英語パンフレット	2000.10	20,000部	GAISF・IF・大使館 領事館・ミネソタ大秋田校 イベント・駅・空港等

広報・宣伝
〔広報／制作物〕

The 6th WORLD GAMES 8/16(Thu)~26(Sun)

制作物	制作時期	制作数	主な配布先
横断幕（高速道路用）	2000.10	10枚	—
Tシャツ	2000.10	502枚	イベント・海外・国内みやげ・各種プレゼント・広報課等
ヌイグルミ	2000.10	200組	銀行・郵便局・主要駅・各種プレゼント・開催市町村 ANA・テレビ局・県外事務所 キャラバン等
キーホルダー	2000.10	1,000個	イベント・読者プレゼント 海外・国内みやげ・広報課
ボールペン	2000.10	1,000個	イベント・広報課・海外・国内みやげ等
横断幕（室内用）	2001. 2	4枚	—
競技写真パネル	2001. 2	41枚	—
マスコット競技 ピクトシール 〈推進室〉	2001. 3	15,000枚	学校
テーマソングCD	2001. 4	3,000枚	イベント・各種プレゼント 本大会関係者等
テーマソング楽譜	2001. 4	500部	音楽関係者
日本語パンフレット (改訂版)	2001. 7	15,000部	県内PR・道の駅・企業 駅・空港・庁内各課等

広報・宣伝
〔制作物〕

The 6th WORLD GAMES 8/16(Thu)~26(Sun)

